

今回、香港での宿泊は九龍側のホテルとなった。場所も香港観光のメッカであるチムサッチョ-イ地区である。

「尖沙咀」と書いて、「チムサッチョ-イ(tsim-sha-tsui)」と読む。

これはこの地域の言葉である広東語であり、我々は到底こう読むことは出来ないが、文句は言えない。

そのチムサッチョ-イは九龍半島最南端のウォーター・フロントである。

対岸の香港島側ウォーター・フロントは超高層ビルが乱立し、世界のビジネス・経済の中核としての機能が詰め込まれた場所であるのに対し、ここは、世界からの観光客が立ち寄る一大観光スポットとなる。

メインストリート沿いには世界のファイヴ・スター・ホテル、有名ブランドが揃うショッピングモールそして高給レストランが立ち並ぶ。

そこから外れ一歩踏み入った路地にも、小さな土産物屋が軒を連ねる。

翌朝にマニラ移動を控えての夜、時間も取れたので、久々にこの界隈を散策してみた。

この日、驚いたのは人の多さである。この日は土曜日で休日、翌5月1日は労働節(メーデー)、これが日曜日と重なったから5月2日(月曜日)は振替休日。3連休の初日であれば賑あうはずであり、合点。

加え、ゴールデンウィークでもあり、日本人観光客もさぞや溢れているかと思いきや、群集のなかからボソボソと日本語が聞き分けられる程度であり、何かさびしい。

連休開始直前になり、海外に出かける人の数も回復してきたと聞いていたが、ここを見る限り、元気がない。

さて、今回は、ゴッタガイする街(ネーザン・ロード)の様子をお届けしているが、注目は画面右に立つおじさん。

「にせもの時計、ローレックス・・・」と日本人を見つけては声をかけているのだが、稼ぎ時の例年のこの時期と違うので、さぞがっかりであろう。

